

公益財団法人 在宅医療助成 勇美記念財団
2016年度（後期）
一般公募 {在宅医療研究への助成} 完了報告書

「在宅訪問看護師の早期育成へのシステム構築」

申請者 : 山口 晴美 (合同会社 HANA NURSING THERAPY)
共同研究者 : 田中宏幸・内藤初恵 (宙)
提出年月日 : 2018年3月31日

1、研究背景および目的

2025年には団塊の世代が後期高齢者となり、医療・介護を必要とする機会が増えると予想される。そこで国もそのような事態に対応するため、地域包括ケアシステムを構築すべく計画されている。在宅療養への転換を図るにおいて、厚労省の案では在宅医療における訪問看護師を1日当たり2011年現在で28人であるのを2025年には49名まで増やさなければ在宅医療の質を担保できないとなっており、訪問看護師の数を確保するためにも早急な看護師育成が求められる。そこで我々は、出産後や家庭の都合で看護師を休職している資格保持者に再度教育機会・学習機会を提供し、在宅への訪問看護師としての技術の向上と共に在宅訪問という施設勤務とは違った看護師としての資質向上を目指した、教育研修プランを作成し「病を見るだけでなく、人を見ること」のできる看護師育成と、ブランクの長い看護師にも即戦力となれる自信と能力をつけてもらうカリキュラムを作成したい。

最近の若い看護師や数年で看護職から遠ざかった潜在ナース（スリーピングナース）に在宅や災害避難所などで看護が必要になった時に現状では経験が少なすぎ、実践的看護が行われにくい。教科書にはない、物品や機器がない状態で看護をするとなったとき必要な基本的なもの（スペシフィック（専門性）だけではなくジェネリック（総合性）なスキルを兼ね備えた（先輩＝おばちゃん看護師として）看護師を育成することが在宅看護師の資質の育成が必要と考える。

その中には看護師としてのマナーや倫理を盛り込み、目的を持った看護を提供し、患者さんと一緒に考え、寄り添い、自立の援助をしていけるように、創意工夫する看護を楽しめるようなものを作りたいと考える。看護師としての資質のみならず、相談援助技術・接遇・社会資源活用の方法等も含め総合的な育成を行うことが、今後迎えるであろう2025年問題への訪問看護師確保に貢献するものとする。

2、研究方法

方法：在宅看護に必要な看護師としてのスキルを調査（現役看護師に聞き取り等）

現在の休職看護師が復帰に必要なスキルは何か？

在宅看護師に必要なスキルとマナーを調査し対応策を探る。

方向性の確認調査

現役在宅看護師・休職看護師双方から、求められる

訪問看護師に必要なスキルや技術のアンケート、聞き取り調査を行い、方向性を探る。(2017年3月～6月)

在宅看護用テキストの作成

アンケートの回答をもとに項目を選択。

- ・在宅看護のマナー、心構え、精神的教育
 - ・観察力、コミュニケーション、基礎看護技術
 - ・実践に役立つ応用（技術、物品）

- ・現役看護師による応用技術
 - 清潔の援助 清拭、足浴、口腔内、フットケア（爪含む）
 - 食事の援助 食事がとれないときの食物、食事介助
 - 排泄の援助 便秘の介入、おむつの当て方、褥瘡予防・創傷処置等
 - 睡眠の援助 睡眠への誘導テクニック
 - 安楽の援助 タッチング、体位の工夫 呼吸援助
 - 症状緩和 麻酔薬の管理と使用

研修会の実施（看護塾） 6回実施（上記内容を展開）

テキストの講義と実習

少人数グループに分け課題ごとに設定し実習をおこなう。

休職看護師が即戦力になるテキストを作成する。

また、受講者の中から次回講師を選別し、講師力を持った講師を育成する。

3、実施報告

1. 現役看護師の原稿、をもとにパワーポイントスライド、テキストを作成
内容としては以下の内容に体の観察、安楽提供の手技としてタッチングの実習を追加した。

- ・在宅看護に必要な心構え、マナー、仕事内容
- ・在宅看護におけるコミュニケーション
- ・在宅看護における観察力
- ・みんなに使えるタッチング・セルフケア
- ・食事の援助、調理の工夫、排泄の援助
- ・清潔への援助（手足・口腔・フットケア）

・睡眠・安楽の援助

6、大阪4回、東京1回、福岡1回のセミナーを開催
講師はそれぞれの会場で地元現役看護師に依頼

7、案内チラシは6会場共通で使用（別途同封）

大阪1	2017年12月10日	参加	25名
東京	2018年1月28日	参加	27名
大阪2	2018年2月11日	参加	24名
福岡	2018年2月25日	参加	30名
大阪3	2018年3月11日	参加	20名
大阪4	2018年3月18日	参加	22名

4、考察

休眠看護師と現役看護師の連携の道筋を作ることで、休眠看護師が即戦力となる、看護技術の相談、看護師つながりの場を作り、今後必要となる在宅看護師の育成と、技術・マナーの高度なレベルでの均一化ができた。

潜在看護師（スリーピングナース）が再度看護師として活動を開始する時に参考となるテキストを作成することで、安心して職場復帰できる。

今回の看護塾では精神的な部分・マナーにも言及しており、私たちが育ててきたHANAタッチング技術を盛り込むことで、利用者・患者さまに安心と安らぎをベースとしたタッチング、触れ合いも強化されている。

これらの事を盛り込んだテキスト作成→講師の人材育成→実践→評価まで行う。まず1年目はその方向づけを視点において展開する。

今後の目標として、看護塾の卒業生による全国波及効果を目指し、在宅看護師のレベルアップを目指す。

スリーピングナースの連絡網・人材提供システムの構築（派遣登録の推進）による看護師不足の解消に寄与することを考えたい。

5、感想

この度は、在宅看護に興味をもっていただき、病院看護師や潜在看護師に在宅で必要な看護技術を伝えるために現場ではどのような看護技術が必要である

かをリサーチしたうえでコミュニケーションから安楽の提供まで網羅したテキストを作成。現役の在宅看護をしている看護師にテキスト原稿を書いてもらい、講師もかねてもらいました。

現状にそくした情報や技術を提供できたと思います。

実際には訪問看護を始めた人、訪問看護に興味のある人、看護技術を深めたい、看護学生など幅広い人に参加してもらえました。

これからもこのテキストをもとに在宅看護に必要な具体的な看護技術を伝え、悩みを持つ看護師のよりどころになればいいと考えています。

講師もたくさん増えるといいと思います。

今回は大阪、東京、福岡での開催でしたが今後は地方でも開催していきたいと思います。

このような機会を与えていただきありがとうございました。

やさしい

在宅看護塾



在宅看護師育成を目的としたセミナーを開催いたします。

この度、勇美財団「在宅医療研究への助成金」により、在宅看護師育成を目的としたセミナーを開催することになりました。

在宅看護に関心のある方、関わり始めた方、復帰したいけどブランクがあって不安をお持ちの方に、教科書では中々学べない、現役訪問看護師が伝えるマナーや接遇、観察、看護技術、タッチング等の実践中心の内容です。ご参加お待ちしております。

開催日時・場所

①2017年12月10日（日曜日）	10:00～16:00<大阪>	ドーンセンター 中会議室3
②2018年1月28日（日曜日）	10:00～16:00<東京>	八丁堀ゼロワンビル 6F会議室
③2018年2月11日（日曜日）	10:00～16:00<大阪>	お気軽会議室 堺筋本町
④2018年2月25日（日曜日）	10:00～16:00<福岡>	BASES 福岡
⑤2018年3月11日（日曜日）	10:00～16:00<大阪>	お気軽会議室 堺筋本町
⑥2018年3月18日（日曜日）	10:00～16:00<大阪>	お気軽会議室 堺筋本町

看護塾内容

午前の部 10:00～12:00

- 1、オリエンテーション
- 2、コミュニケーション・観察力
- 3、タッチングテクニック、セルフケア

午後の部 13:00～16:00

- 4、食事・排泄のサポート
- 5、清潔（手足、口腔のケア）のサポート
- 6、睡眠、安楽（呼吸、体位）のサポート

※ 質疑応答

参加費：無料（食事の準備はございません）

参加人数：25～30名（会場の都合にて）

申し込み方法

①名前 ②住所 ③メールアドレス ④希望会場

⑤複数でお申し込みの場合は人数

以上をそれぞれの開催日1週間前までにお申し込みください。

定員になり次第、締め切らせていただきます。

申し込み・お問合せ先 メール：harupin722@i.softbank.jp

FAX：06-6789-3686

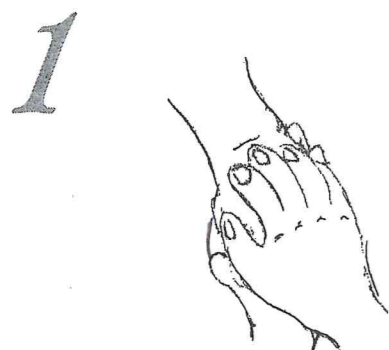
主催：合同会社 HANA NURSING THERAPY 山口晴美



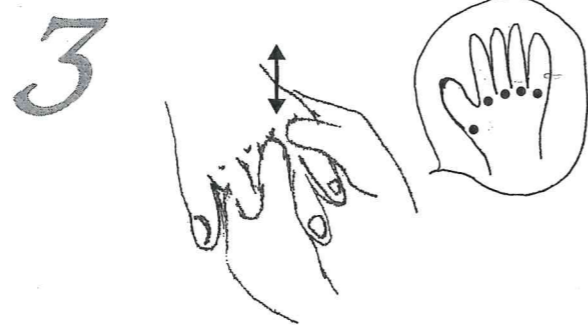
Body Quest "Hand"



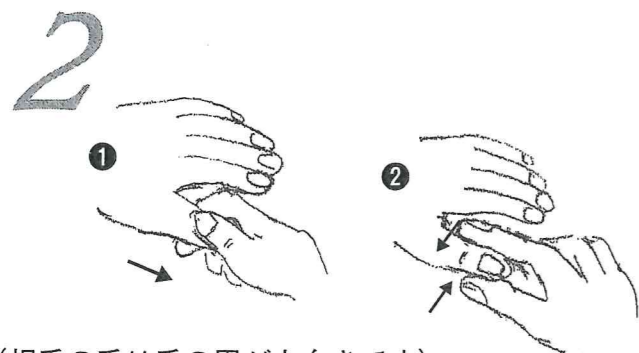
HANA NURSING THERAPY



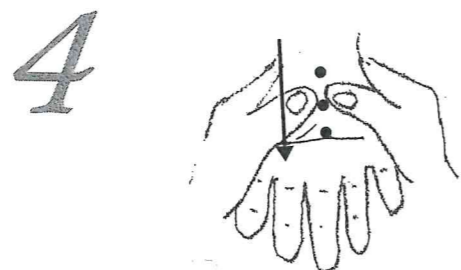
相手と手の平を合わせ両手で包む
※一緒に深呼吸1回



指のつけ根の関節を持ち指の間が少し動くように互い違いに動かす (2回)



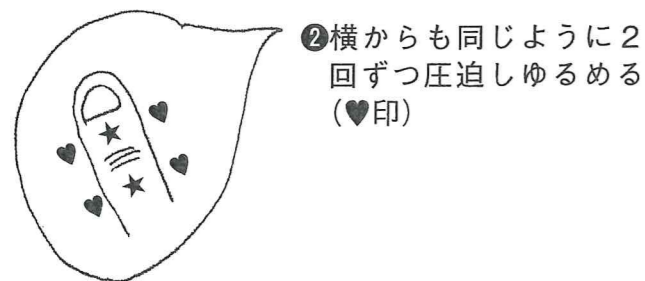
(相手の手は手の甲が上向きです)
①手の平で相手の手を支え指のつけ根から関節の間を背と腹側から2回ずつ指先へゆっくり圧迫しゆるめる (★印)



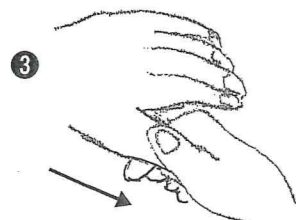
両手で手を包み手の平が上になるよう返す
両方の母指で手首の手前から中心まで八の字にゆっくり圧迫しゆるめる (1回ずつ)



手の甲が上になるよう返し、自分の手の平を相手の手の甲に密着させこすらないようゆっくりと円を描く (2回)



②横からも同じように2回ずつ圧迫しゆるめる (♥印)



③最後に指のつけ根から指先へすーっと流す

※5指を順に全て同じくり返し
※母指、小指どちらからはじめてもよい



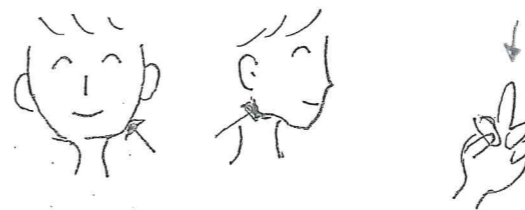
最初と同じように両手を包み呼吸を合わせ息を一緒に吐きながら両手で指先にすーっとひくよう流す (1回)



FACE

◎ 顔半分 片方ずつ、行います。 ゆっくりあまりひびきとらさないように!

① あごの角 (下顎角)あたりを中指で下向きに軽くトントントン (8回)



② 頭のてっぺんから髪の毛をなでる (4回)



③ 手の指をそろえて目の下を眉毛とからこめかみにすーとなでる (4回)



♥ 小鼻の横からこめかみにすーとなでる (4回)

♥ 口角 (口のほし) からこめかみにすーとなでる (4回)

♥ 下顎 (あごの骨)をほさんで耳の下まですーとなでる (4回)

④ 耳の下から鎖骨へ向ってすーとなでる (8回)



⑤ 鎖骨を指2本でほさんで ゆっくり前からうしろへすーとなでる (4回)

⑥ 鎖骨の下から脇へ向けてはらうようになでる (3回)

※ 半分行って鏡やとなりの人と変化をみる。 → 残った片方を同じように行う。